

電気通信大学 平成18年度シラバス

授業科目名	Academic Written English I		
英文授業科目名	Academic Written English I		
開講年度	2006年度	開講年次	1年次
開講学期	1学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法		単位数	1
科目区分	総合文化科目-言語文化科目-言語文化基礎科目 I		
開講学科・専攻	情報通信工学科 情報工学科 電子工学科 知能機械工学科 システム工学科		
担当教官名	近藤 良子		
居室	非常勤講師		

公開E-Mail	授業関連Webページ

<p>【主題および達成目標】</p> <p>(a) 主題： 企業・研究室・学会で求められる即戦力をめざします。具体的には、F101（言語自習室Windows）からアクセスできるe-Learning教材(ALC NetAcademy)を活用し、以下の能力をバランスよくスキルアップします。</p> <p>1) input（情報入手）：スピードリスニング 2) output（情報発信）：英文レポート作成（Word）+英語でのプレゼンテーション</p> <p>各学会、或いは各大学の紀要に提出された実際の論文を参照しながら、論文の構成・査読の評価基準を確認します。</p> <p>(b) 達成目標： 1) input：戦力になるリスニングはスピードを要求されます。段階をおって実践力を養いましょう。 2) output：文法に頼って日本語を英訳するだけの英作文では、論旨が不明になる・2つの意味に取れる・文脈がずれる・稚拙な表現に終始する、などの理由で査読を通しにくいのが現状です。current English（実際に使われている英語）を英文データベースとして扱う基礎を学びましょう。（近い将来、各自の専門分野に特化した英文データベースを作成しておく事は、自身のコンテンツを守る情報発信の戦力につながります。）</p> <p>またWordは文章を書くだけでなく、ユビキタスな環境などでも簡便なプレゼンツールとして使えます。作成した英文レポートを使い、説明責任を負えるプレゼンができるようスキルアップしましょう。時代（特に企業）のニーズは高速大容量です。数値を伴うデータをはじめ、映像・フラッシュ・ジフアニメ・写真・音声など、後学期で扱うPowerPointでのプレゼンへの方向性を習得しましょう。</p>
--

<p>【前もって履修しておくべき科目】</p> <p>なし。</p>

電気通信大学 平成18年度シラバス

【前もって履修しておくことが望ましい科目】

特にありませんが、基本的なコンピュータスキル（Windows）と高校での英語の成績が10段階中7以上はあった方がよいと思います。

【教科書等】

e-learning教材を使いますので教科書は不要です。

【授業内容とその進め方】

授業内容とその進め方：

初回で、前学期の授業内容・評価方法の説明・e-Learning教材(ALC NetAcademy)の紹介などの他、英文レポートの実例（映像・フラッシュ・ジフアニメ・写真・音声などに関連付けられているWordファイル）・実際に英語でプレゼンしている様子の映像などを紹介します。

2回目以降からリスニング（スピードと内容のレベルを少しずつ上げていきます。）と並行させて、論文の構成、査読の評価基準、英文サイト検索、英文データベースの扱い方、数値を伴うデータ（グラフ・表など）の扱い方、写真ファイル作成、オリジナル音声ファイル作成、映像・フラッシュ・ジフアニメ・音声などの扱い方などについて順を追って説明していきます。

最終回にいたる前2～3回、プロジェクタとスクリーンを使って、実際に英語でプレゼンするチャンスがあります。最終回は学期末試験（スピードリスニング）です。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

成績評価方法：

- 1) 学期末試験・提出ファイル類・英語でのプレゼンテーション。65%
- 2) 平常点・出席率。35% 遅刻3回で欠席1回のカウントとします。

評価基準（単位取得に必要な下限レベル）：

- ・ スピードリスニングは、5段階中レベル4までのリスニングを40%以上理解できる。
- ・ 英文データベースの編集+静止画・音声etc.で、文脈の通った英文レポート（A4で最低2ページ）を作成できる。
- ・ 指定されたファイル類を全て提出している。
- ・ 3分の2以上の出席率。

【オフィスアワー：授業相談】

授業相談：

金曜日 14:40～16:40 （但し事前にアポイントを取って下さい。）

電気通信大学 平成18年度シラバス

【学生へのメッセージ】

百の「評論」より、一つの責任ある「提案」です。自分で創り上げたコンテンツは、それが有形であれ無形であれ、諸君の人格同様に尊重されるべきものです。今後も電通大が国際社会に貢献する出番はかなり多くなると考えます。技術者であることにプライドをもって受講して下さい。

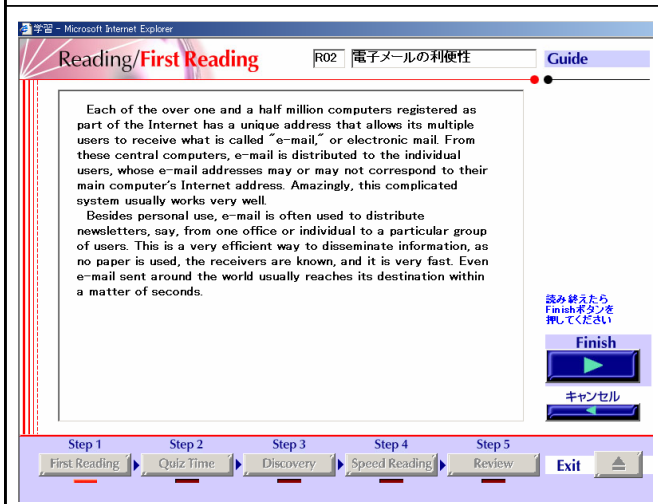
【その他】

教室はF-101（言語自習室）、Windowsの環境です。

関連図1は、e-Learning教材(ALC NetAcademy)の原文の一例です。

関連図3は、e-Learning教材(ALC NetAcademy)のレベル分けの一例です。

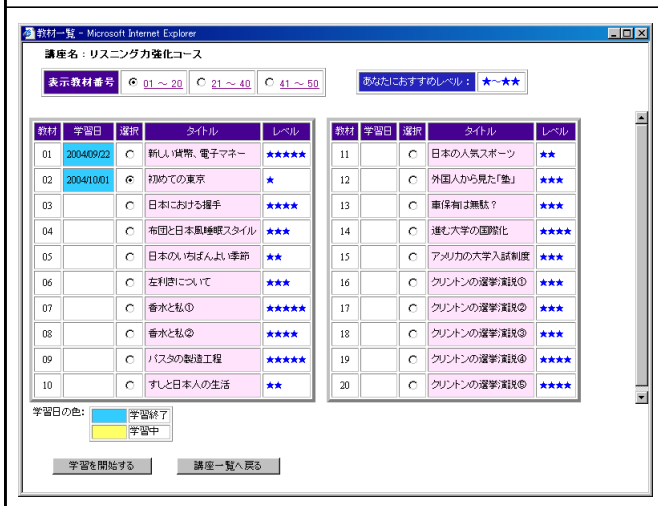
関連図1



関連図2

No Image

関連図3



関連図4

No Image